



## 平成27年度学校評価報告書

甲府市立北西中学校

### 〈本年度の重点項目〉

- ① 確かな学力の育成（学力向上と表現力を目指して）
- ② 北西中の良さに気づき誇りを持てる生徒の育成

#### —学習指導—

- ① 日常的な言語活動等，表現力を培う授業実践や工夫した教育活動ができていたか
- ② 学力とスマホ使用時間の関連を意識し，家庭と連携した家庭学習の定着を図ることができたか
- ③ 本と情報機器の複合的活用など，教科，道徳，総合等で図書館を積極的に活用したか
- ④ 何を生徒に読ませるか等考慮した「朝読書」や「読み聞かせ」など，思考力，表現力を養う読書活動を仕組んでいたか

#### —特別活動—

- ① 北西中の良き伝統を継承する中で，さらなる生徒会活動の推進と活性化が図られたか
- ② 小中連携を通して地域の小学校との交流を推進することができたか
- ③ 「合唱タイム」の取組を通して学級・学年・全校の一体感や感動を創りあげることができたか（オープンスクール・あいさつ運動など）

#### —各種教育—

- ① 思いやる心を育む「いのちの教育」を実践することができたか

—学習指導—

1. 自己評価から

- ① 日常的な言語活動等，表現力を培う授業実践や工夫した教育活動ができていたか  
できている（48%），まあまあできている（48%）を合わせて→96%
- ② 学力とスマホ使用時間の関連を意識し，家庭と連携した家庭学習の定着を図ることができたか  
できている（10%），まあまあできている（67%）を合わせて→77%
- ③ 本と情報機器の複合的活用など，教科，道徳，総合等で図書館を積極的に活用したか  
活用した（32%），まあまあ活用した（45%）を合わせて→77%
- ④ 何を生徒に読ませるか等考慮した「朝読書」や「読み聞かせ」など，思考力，表現力を養う読書活動を仕組んでいたか  
仕組んでいた（82%），まあまあ仕組んでいた（14%）を合わせて→96%

2. 保護者のアンケートから

- ① お子さんは，学校生活を楽しく送っていると思いますか  
そう思う（65%），まあまあそう思う（30%）を合わせて→95%
- ② お子さんは，授業の内容を良く理解していると思いますか  
そう思う（19%），まあまあそう思う（51%）を合わせて→70%
- ③ 北西中学校では，授業中に小グループ活動（2～4人）を行っていることを知っていますか。  
よく知っている（7%）だいたい知っている（30%）を合わせて→37%  
（あまり知らない 39% 知らない 24%）
- ④ お子さんは図書館の本を借りたり，図書館をよく利用していると思いますか。  
そう思う（12%），まあまあそう思う（20%）を合わせて→32%  
（あまり思わない 37% そう思わない 31%）
- ⑤ 家庭で，お子さんは本（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）をよく読んでいますか。  
そう思う（15%），まあまあそう思う（23%）を合わせて→38%  
（あまり思わない 35% そう思わない 27%）
- ⑥ 学習塾や，家庭教師について勉強する時間を含め，平日，学校以外で何時間くらい勉強していますか。  
1時間未満（35%）1時間以上（37%）2時間以上（21%）3時間以上（7%）

- ⑦ 県 PTA 協議会，市 PTA 連合会の提案を受け，PTA 総会で家庭での携帯電話，スマホ，インターネット等を利用する際のルールについて話し合うことをお願いしましたが，必要であったと思いますか。
- そう思う（51%），まあまあそう思う（41%）を合わせて→92%  
（あまり思わない6% そう思わない2%）

### 3. 生徒のアンケートから（「全校学校生活アンケート」より）

#### ① 学校生活は楽しいですか

6月 とても楽しい（53%），楽しい（36%）を合わせて→89%

11月 とても楽しい（47%），楽しい（47%）を合わせて→94%

-H26-

6月 とても楽しい（49%），楽しい（40%）を合わせて→89%

11月 とても楽しい（48%），楽しい（46%）を合わせて→94%

-理由-

（1年）

- ・ 授業も楽しい・みんなが仲良くしてくれる
- ・ おもしろくて優しい先生がいる
- ・ 授業もレベルアップして楽しい
- ・ 学校に行けば仲の良い友達がいるし，先生も優しく勉強を教えてくれるから
- ・ 友達と一緒にいて幸せな気持ちになるし，いつも笑ってられるし，いろんな先生はおもしろくて，授業も楽しいから

（2年）

- ・ 部活が楽しい
- ・ 清流祭などの行事があるから
- ・ 友達と話すことが楽しい
- ・ 大切な仲間・楽しい先生がいるから
- ・ いい先輩，いい後輩がいるから
- ・ 充実している
- ・ 学校行事が楽しいから

（3年）

- ・ 充実していていろいろなことを学べるから
- ・ 友だちに会えるから
- ・ 平和だから
- ・ 友達といて楽しい
- ・ 学級も部活も充実している

② 携帯電話やスマホを持っていますか

-6月実施-

	1年	2年	3年		1学期
ア もっていて、使っている	47	46	45	<b>138</b>	<b>45%</b>
イ 持っているが、あまり使わない。	23	24	19	<b>66</b>	<b>23%</b>
ウ 自分のものはない。	16	14	15	<b>45</b>	<b>20%</b>
エ 持っていないし、使わない。	15	13	6	<b>34</b>	<b>12%</b>

-11月実施-

	1年	2年	3年		2学期
ア もっていて、使っている	52	39	66	<b>157</b>	<b>58%</b>
イ 持っているが、あまり使わない。	20	15	10	<b>45</b>	<b>17%</b>
ウ 自分のものはない。	19	10	6	<b>35</b>	<b>13%</b>
エ 持っていないし、使わない。	10	15	10	<b>35</b>	<b>13%</b>

③ 携帯, スマホ, パソコンなどの利用方法について, 家族で話し合ったことがありますか

-6月実施-

	1年	2年	3年		1学期
ア よく話し合う	22	46	45	<b>113</b>	<b>45%</b>
イ 話し合った	51	24	19	<b>94</b>	<b>23%</b>
ウ あまり話さない	21	14	15	<b>50</b>	<b>20%</b>
エ、話し合わない	7	13	6	<b>26</b>	<b>12%</b>

-11月実施-

	1年	2年	3年		2学期
ア よく話し合う	18	9	11	<b>38</b>	<b>14%</b>
イ 話し合った	48	38	38	<b>124</b>	<b>45%</b>
ウ あまり話さない	23	22	31	<b>76</b>	<b>28%</b>
エ、話し合わない	12	10	13	<b>35</b>	<b>13%</b>

4. その他

① 読み聞かせ (朝の読書時に2年前から全教員が「読み聞かせ」を実施し, 今年で3年目を迎える)

- ・ 本年度実施回数: 76回
- ・ 読み聞かせをするようになってから, 貸出冊数が増え, 図書館を利用する生徒も多くなった。
- ・ 読み聞かせに使用した本  
1年: 「つみきのいえ」「ランドセルは海を越えて」「番号をどうぞ」「償い」

「ありがとう、先生」「ヤクーバとライオン I と II」「急行北極号」「サンタクロースはいるんでしょうか」「はつてんじん」

2年：「わらしべ長者」「人生がときめく片づけの魔法」「まんじゅうこわい」「バスラの図書館員」「世界がもし100人の村だったら」「世界で一番貧しい大統領のスピーチ」「津軽」「作中の人物 魚の名前」「はつてんじん」

3年：「清兵衛と瓢箪」「世界で一番貧しい大統領のスピーチ」「28年目のハーフタイム」「まんじゅうこわい」「こかげにごろり」「きみはきみらしくある研究」「はつてんじん」

② 図書館貸出冊数推移（4月～12月）

- 2011年 840冊
- 2012年 1523冊
- 2013年 1827冊（読み聞かせ開始）※一クラス減
- 2014年 2213冊
- 2015年 2462冊（1月19日現在）

③ パソコンと本を使った図書館での調べ学習の状況

- ・ 年間を通して、総合では、3年生の修学旅行調べや2年生の職業調べ、教科では、1年生の家庭科での「日本の伝統的な住居」調べ等に利用している。

読み聞かせ一生徒の感想（「読み聞かせ」記録カードより）

- ・ とても話にすいこまれるような話し方で、何回も聞きたくなりました。一つ一つの家にとくさんの思いがあるように、学校の教室も同じでとくさんの思い出ができるだろうと思い温かい気持ちになりました。（1年 女子）
- ・ アフガニスタンの国の子供たちは、机もノートも時には教室もなく勉強している。私たちは、クーラーや机などいろいろなものが揃っている。この話を聞いて私は本当に幸せだなと思った。もっと授業を大切にしようと思う。（1年 女子）
- ・ 読み方にとってもやさしさがこめられていて、この本ととても合っている読み方だと僕は思った。心がとても温くなる本で自分たちもこんなころがあったなと思いだした。この本の温かさを生活でも誰かの役に立てていると思った。（1年 男子）
- ・ 僕たちと一年しか変わらない2年生が深く感情を持って、読み聞かせをしてもらってすごいと思った。ライオンとヤクーバの絆にもとても感動した。人を思いやって生きていくこと、人をリスペクトして生きていくことがとても大切なことだと思った。（1年 男子）

- ・ 落語を絵本で見たこともなかったし、こんな長く聞いたこともなかったので、新鮮でおもしろかったです。(1年 女子)
- ・ 太宰の作品はあまり知りませんでした、この作品に興味を持ったので続きも読みたいです。(2年 男子)
- ・ すごく難しい話だった。でも、わたしたちが今一番大切にしなければならない、気づかなければならない話だと思う。この話を世界中の人が聞いたらもっと良い世界になると思う。(2年 女子)
- ・ 私は本が好きでよく図書館に行くけど、この本のようにたくさんの本が、たくさんの人に守られていると知りすごいなと思った。(2年 女子)
- ・ 読んでいる先生と同じように、いくつか思い当たることが聞いている間に浮かんできました。そして物事は、はっきり決めないとダメと言うのも学びました。(2年 男子)
- ・ 流行に乗らないと周りについていけず、人に合わせないといけないのは自分らしさがなく、最後には結局苦しい思いをしてしまうんだなと思いました。周りに合わせないと安心できないという気持ちを捨て、自分らしさを大切にする強さを持ちたいと思いました。(3年 女子)
- ・ 星新一さんのこの物語は、一度読んだことがあるものだったが、読み聞かせで聞くと、また違って不思議でした。(3年 女子)
- ・ 海外の絵本はつまらなそうだったが、聞いてみると面白かった。他にも読んでみたい(3年 男子)
- ・ あきらめずプレーしていたら、いつかチャンスがきて勝利に結びつくことが解った。テニスでも最後まで粘り強くプレーできるようにしたい。(3年 男子)

#### 【自己評価と保護者・生徒アンケートの結果から】

- ① ほぼすべての教員が「日常的な言語活動等、表現力を培う授業実践や工夫した教育活動」ができていると答えている。また、生徒アンケートでの「学校生活は楽しいですか(11月 とても楽しい(47%), 楽しい(47%)を合わせて→94%)」の理由に、「おもしろくて優しい先生がいる」などと共に、「授業が楽しい」、「先生も優しく勉強を教えてくれるから」という理由もあった。保護者アンケートでは、子どもが、学校の授業の内容を理解していると考えている保護者が70%であったが、同じ保護者アンケートのフリーワードの中に「毎日、予習をすることを心がけてきている(1年)」「レベルアップしてみようという向上心が見えてきたように思う(2年)」「計画的に学習するようになった(3年)」という、以前に比して学習に対する向上心が見えてきたという内容の回答も少なくないことから、総体として、教師側の意識と、

生徒の学習に対する積極性との間に相関がみられる。

- ② 次期学習指導要領のキーワードの一つに「アクティブ・ラーニング（課題発見・解決に向けた、生徒の主体的・協同的学習）」がある。既に、本校では、授業に小グループを使った記録・要約・論述・発表、といったアクティブ・ラーニングを取り入れた言語活動の充実を図っており、生徒・教師共にこうした主体的・協同的学習に関して前向きな実践が継続されている。しかし、こうした本校の教授・学習法や取組について、知らないと答えた保護者は63%にもものぼる。「来て、見て、知って北西中」のスローガンの下、「開かれた学校」づくりを推進してきたが、今後も、「生徒こそが北西中教育の厳正なる証人である」ことを胸に刻み、本校の取組等、積極的情報発信を行うと共に、継続的、計画的な「日常的な言語活動等、表現力を培う授業実践や工夫した教育活動」への取組を行っていく必要がある。
- ③ 携帯電話やスマホを所持している生徒は、75%にのぼっている。また、92%の保護者が、家庭での携帯等、使用上のルールに関する話し合いについて、必要性を感じている。しかし、実際に、利用方法について、家族で話し合ったことがある生徒は70%弱である。
- ④ 学力とスマホ使用時間の関連を意識し、家庭と連携した家庭学習の定着を図ることができたと考える教員は77%である。一方、平日、学校以外で、2時間以上勉強していると考えた保護者は28%に過ぎないが、保護者アンケートのフリーワードでは、「テスト前しか勉強しませんでした、2学期中旬くらいから毎日勉強するようになった。結果、中間より期末の方が点数も良かったので、テストが終わってから勉強を続けてがんばっている（1年）」、「毎日きちんと自宅学習する習慣がついた（2年）」、「自分の決めた時間になると、机に向かい、勉強しはじめる（3年）」など、生徒の家庭学習に対する前向きな態度がみられてきたという回答が多い。今後、基礎的・基本的な学習内容の定着をはじめ、発展的学習のためにも、時間を決めて机に向かうことなど計画的学習の実施や、家庭学習との有機的な結びつきを意識した授業、量と質の高い宿題への転換など、家庭と連携しながら家庭学習の充実を図っていきたい
- ⑤ 本と情報機器の複合的活用など、各教科等で図書館を活用したと答えた教員は、80%近い。現在、総合的な学習の時間での活用が最も多いが、今後も、「意欲や理解を高めること」「思考を深めたり広げること」「表現や技能を高めること」など、各教科等での図書館の機能を生かした積極的活用が求められる。
- ⑥ 子どもの読書活動に対する国や地方公共団体の責務等を明確化した「子どもの読書活動の推進に関する法律（平成13年12月）」では、その基本理念と

して、「子ども（おおむね18歳以下の者をいう。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。」としている。

- ⑦ 「朝読書」や、今年で3年目を迎える「読み聞かせ」など、読書活動による、思考力等、いわゆる「読解力」の育成については、ほぼ、すべての教員が、こうした活動を仕組むことができたと考えている。また、教員が、どの本で「読み聞かせ」を行うか、司書と相談する姿が日常的になるなど、教員自身の前向きな姿勢が子どもの読書に対する姿勢に好影響を与えていることも想像に難くない。さらに、読み聞かせによる、図書の出数増加や利用者の増加など、目に見える効果も現れている。しかし、子どもが図書館の本を借りたり、利用していると思う保護者は32%に過ぎず、家庭で子どもがよく本を読んでいると思う保護者も38%しかいない。今後は、保護者による読み聞かせや、現在も行っている「家読」のすすめなど、より積極的推進が期待されると共に、読書が「人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであること」を教員のみならず、保護者や地域の大人たちも、きちんと認識することで、家庭・地域・学校の三位一体となった豊かな言語環境づくりの実現へと地道な努力を続ける必要がある。

.....

## —特別活動—

### 1. 自己評価から

- ① 北西中の良き伝統を継承する中で、さらなる生徒会活動の推進と活性化が図られたか  
図られた（74%）、まあまあ図られた（22%）を合わせて→96%
- ② 小中連携を通して地域の小学校との交流を推進することができたか  
できている（38%）、まあまあできている（52%）を合わせて→90%
- ③ 「合唱タイム」の取組を通して学級・学年・全校の一体感や感動を創りあげることができたか（オープン・スクール・あいさつ運動など）  
できている（81%）、まあまあできている（19%）を合わせて→100%



## 2. 保護者のアンケートから

- ① お子さんは、学校生活を楽しく送っていると思いますか  
そう思う (65%), まあまあそう思う (30%) を合わせて→95%
- ② 合唱活動を通して、仲間とのふれあいや、学級・学年・全校の一体感が生まれていると思いますか。  
そう思う (51%), まあまあそう思う (39%) を合わせて→90%

## 3. 生徒のアンケートから (「全校学校生活アンケート」より)

- ① 学校生活は楽しいですか  
6月 とても楽しい (53%), 楽しい (36%) を合わせて→89%  
11月 とても楽しい (47%), 楽しい (47%) を合わせて→94%

### 合唱祭での2 学年生徒の感想文 (抄) より

- ・ 私たち、2年生は来年最上級生となるので、今の先輩の合唱を引き継いで、すばらしい合唱にしていけるようがんばります。(女子)
- ・ 3年の合唱はどのクラスも難しそうな曲ばかりでした。それをこなしている3年生はすごいなと思いました。「ふるさと」は、無伴奏で、あんなにきれいな合唱ができるんだととても驚きました。3年生に負けてはいられないと思いました。(男子)
- ・ 来年の合唱祭では、3年生の合唱に負けなくらいのレベルの高い合唱にしていきたいです。(男子)
- ・ 1年生は大切なものが印象に残りました。初めての合唱祭で、先輩の前で、歌うとなると、緊張すると思うのですが、緊張している様子がないくらいはつきりと歌っていてすごいなと思いました (女子)
- ・ 今年の合唱祭は、すべてを含めて良いものになりました。その中で、僕たちの合唱も同じように評価されたことがうれしかったです。昨年、先生が「君たちはこの歌と共に出会い、大きく進化する」と話した意味が今年もわかった気がします。(男子)

### **【自己評価と保護者・生徒アンケートの結果から】**

- ・ 教職員による自己評価の結果から、ほぼすべての教員が、北西中の伝統の継承と、生徒会活動の推進・活性化が図られたと考えている。また、95%もの保護者が、我が子が学校での生活を楽しく送っていると思っている。保護者アンケート「北西中の良さ」についてのフリーワードでは、「合唱の活動に先生方が熱心で、その活動がずっと続いている (1年)」、「合唱がすばらしいと思う (1年)」、「合唱祭、本当に感動した。歌うことを恥ずかしいと思

うことがあたりまえとっていたが、全員が真剣に取り組んでいたこと、すばらしいと思った(2年)」「合唱の伝統を守ろうとするところ。(3年)」など、本校の合唱活動に多くの保護者が高評価を与えている。合唱以外にも、清掃活動や学園祭なども同様の評価である。保護者アンケートの「まじめで素直な子が多く、先生方も熱心で安心して中学生を送っていけるところ。それが伝統というか、長い間続いているところがすばらしい(2年)」、こうした評価を教員のみならず、生徒とも共有することで、さらなる生徒活動の推進・活性化と、伝統の継承を意識した活動が期待される。

- ・ 生徒アンケートの中で、学校生活が楽しい理由として、「学校行事が楽しいから」「清流祭などの行事があるから」「充実していろいろなことを学べるから」という回答がみられ、生徒会活動をはじめ学校行事が生徒達の学校生活に大きな影響を与えていることが見て取れる。
- ・ 全生徒をもって組織する生徒会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行うことは、望ましい人間関係の形成や、社会や集団の一員としてよりよい生き方を学ぶ上で、きわめて重要である。また、「行事を通して、生徒は大きく成長する」といわれているが、行事を通して、生徒にどのような力をつけていくのか、目的を明確化した上で、全教員が、生徒を主体とした生徒会活動を支援しながら、「生徒の自治的活動を促進する」「自主的態度を育成する」「互いを認め合う生徒同士の良き関係性を構築する」ことなどを意識した指導を継続していく必要がある。
- ・ 小中連携について、甲府市では、「子ども達に確かな学力や豊かな人間性をはぐくむためには、小・中学校において『学びの連続性』を大切にし、一貫性のある教育を展開することが必要である」との考えから、平成25年度より、すべての中学校区で小中連携教育を推進している。
- ・ 本校でも、小学校6年生を対象とした部活動見学・体験の実施や、オープン・スクールの実施、中学校教師による小学校英語の授業参観、特別支援教育コーディネーター同士での見学会、小中連携あいさつ運動などに取り組んできており、自己評価の結果からも、90%もの教員が、小中連携を通して地域の小学校との交流を推進することができたと考えている。
- ・ 小中連携においては、互いの日程を合わせる事が難しいなど、課題も少なくないが、今後も、生徒のみならず、教員の相互交流の積極的推進や、校種を越えた教員同士の「学びあい、高めあい」など、「タテの接続」を目指し、少しずつでも着実な連携を目指す必要がある。
- ・ 本校の特色の一つとして、表現活動、とりわけ、合唱活動の取組がある。自己評価の結果から、すべての教員が、「合唱タイム」を通した一体感の醸成や感動・情緒の育成など、達成されていると考えている。事実、県内でも珍

しい合唱団の存在や、日常での子ども達の合唱への姿勢などから、本校生徒の合唱に対する思いと誇りを感じ取ることができる。また、保護者アンケートからも、本校の合唱に対する期待の大きさが見て取れる。

- ・ 「他者を認め、他者と共に響き合う」ことが、合唱の意義の一つであり、合唱の取組は、自分たちの活動や「こころ」を映し出す鏡でもある。また、見方を変えて、スクール・アイデンティティの確立（「らしさ」の創造）という観点から、或いは、北西中学校としてのブランディング確立の一つの方策として、これからも合唱を北西中教育の柱の一つとしていく必要がある。

・・・・・・・・

## —各種教育—

### 1. 自己評価から

- ① 思いやる心を育む「いのちの教育」を実践することができたか  
できている（68%）、まあまあできている（32%）を合わせて→100%

### 2. 保護者のアンケートから

- ① 家庭で、お子さんと学校のことや友人、勉強のことなどについて、よく話をしていると思いますか。  
そう思う（37%）、まあまあそう思う（39%）を合わせて→76%  
（あまりそう思わない21%、そう思わない3%）
- ② 家庭では、お子さんのしつけに力をいれていると思いますか。  
そう思う（22%）、まあまあそう思う（59%）を合わせて→81%  
（あまりそう思わない17%、そう思わない2%）

### 【自己評価と保護者アンケート等の結果から】

- ・ すべての教員が思いやる心を育む「いのちの教育」ができていると考えている。また、保護者アンケートの中にも、本校の良さとして、「皆が仲良く思いやりがある（1年）」「皆が仲良くしている様子が見られる（1年）」「仲間を大切にするとところ（2年）」「様々な行事において、クラスの団結、仲間を尊重する心の育成を取組の中において感じ、また、成果を得ていると思った（2年）」「生徒同士、先生達と一つになって、いろんなことに取り組む姿が素晴らしい。みんな仲もよく、お互い協力し合って、向上していつている学校だと思う（3年）」という感想が多く、思いやりの心を育む教育活動は、着実に実を結んでいると考えて良い。

- ・ 「平成27年度甲府市学校教育指導重点」における「重点目標」の一つに「思い遣る心」の育成がある。また、本校の学校目標にも「思い遣る心を持つ生徒」がある。戦後70年、日本の来し方を振り返りながら、未来に向けて、たくましく、思いやりの心を持った生徒を育成するためにも、まずは、教師をはじめ、大人がその範となると共に、思いやりの心を育む「場」としての学校、他者性を育てる「場」としての学校の意義など、日常の中で、教員自らが、常に意識する必要がある。

「言葉の中の思いやりは自信を創ります。思考の中の思いやりは深遠さを創ります。与えることの中の思いやりは愛を創ります」 —老子—

### 【学校関係者評価委員会が出された意見】

#### 1 確かな学力の育成（学力向上と表現力を目指して）

- ・ アンケートの中で、学校生活が楽しいという生徒が非常に多い。すなわち、学校が楽しいという理由に、勉強がわかるということがかなり入っているのではないかと思う。
- ・ 北西中に関わる中で、子ども達を見て、いくら教えてもなかなか理解できない子どももいるだろうが、その子どもが一生懸命にわかろうと努力している姿。これがこのアンケートの中に表れている。北西中学校は、本当にすばらしい教育活動をしているなと私は感じている。きっと、子ども達も幸せだし、教えている先生方も幸せを感じていることだと思う。
- ・ 学力向上の取組について、先生方の評価、生徒の自己評価、保護者の自己評価、学力向上に対する取組が適切であったのかなど、関連づける設問が大切だと思う。先生方の学力向上に対する取組の振り返り、生徒自身の振り返り、保護者による振り返りをして、それを次につなげていくことが必要だと感じた。また、学校側の学力向上の取組に対して、保護者がどの程度満足しているのかどうなのか、満足度はどうなのか等、重要であると思う。
- ・ 学力向上に特化した設問があってもよいと思う
- ・ 学校から家庭に、自主学習をしてほしいとか、こういうことをしてほしいとか、ざっくばらんに聞くアンケートでも良いのではないかなと思っている。

## 2 北西中の良さに気づき誇りを持てる生徒の育成

- ・ 北西中の良き伝統を継承しつつ、創意工夫ある教育課程の編成と実施に努める事に対して、先生方が、自信を持って教育活動を行っていることに感謝している。
- ・ 学級指導についても、特別活動についても、少数の5%がなぜ満足していないのか掘り下げて調べることも大切である。
- ・ 各種教育、その他、生徒指導や保健安全について見ると、校長先生をはじめとする先生方の努力が表れていると思う。教職員による自己評価では、「ややそう思う」が比較的多い。きっと、先生方が反省の気持ちを込めて、控えめにつけているのだろう。また、教職員が苦勞している点だと理解した。それだけ、先生方が真剣に取り組んでいるのだと思っている。
- ・ 特に生徒指導については、担任が一人が抱え込んだり、学年主任が苦勞したり。難しい家庭の子どもや、専門的な指導が必要な不登校の生徒については、もっと、関係機関にも学校のサポートをしてもらいたい。

## 3 その他

- ・ 地域に北西中のことを聞くと、すばらしい学校だ、という答が返ってくる。生徒もいいし、先生方もいいし、とそんな話が耳に入ってくる。
- ・ 生徒指導についても、先生方の取組に対して、保護者がどのくらい満足しているのかということがわかる設問があってもよい。
- ・ 生徒に関する学校の取組や先生方に感謝している。

